

警城時報

石城郡警務所
印刷部
電話二四四番
電話二四四番
電話二四四番

石城郡町村長會

自治資料展覽會

百種類出品千点に達す
御大典紀念事業

町村長會石城支會では御大典紀念として来る十一月二十三日から四日間平町元石城郡役所内に各町村の自治資料展覽會を開催する事となり目下準備中であるが、出品物の種類は町村誌、收受簿、條例其他自治に關係したもの約百種の多數に上り出品点数は約千点を豫想されてゐる。趣意書に曰く

「町村制實施以來既に四十年其間幾多制度の變遷、法令の改廢、整理、文運の進歩に依り自治の進展著しきものあるは喜ぶ所なり、近時地方自治の振興、自治權擴充の必要を主張せられ漸次之が實行を見るに至り遂には郡制を廢止して其事務を府縣と町村とに分配し近くは郡役所を廢止して地方行政の一新紀元を劃し大に町村の自治權を擴充し更に進んで自治權擴充の目的を以て各方面に亘り調査考究を進めつゝある状態なり、然りと雖も尙一般住民自治の觀念の普及徹底、農村の振興、産業經濟の不振、町村財政の窮迫社會的公私の施設に至りては其外的發展に伴はざるの觀なき能はず又町村中には自治權の擴充に伴ひ其事務の處理に困難を感じつゝあるものな

指導監督の責任を有する縣當局の勞苦、繁雜は實に容易ならざるものあるを認む。郡役所廢止後に於ける各町村間の聯絡統一に至りては待たざるに涉り遺憾の点なきにあらず、此間に善處するは町村長會の任務にして今や各級町村長會を通じて幾多の案件を建議し其目的の達成に努めつゝ、本年は時恰も御大典八十四歳である。

四倉市場取引

四倉市場十九日取引額は五十五圓三百七十五貫九十文、二百九十九圓六錢で、最高六圓二十四錢、最低四圓五十錢、平均五圓つあり、本年は時恰も御大典八十四歳である。

娼妓手古舞問題

平青年團紛擾

過般行はれた平町鎮座子鏡倉神祇に申請中であつたが十七日縣社例祭に鎮座町青年團が平町青年團幹部に何等の交渉もなく娼妓五名を選び手古舞ひに扮装をなす事になつた、敷地は既定の方針に基き買収する筈で坪數四、二百三十四坪で一坪三圓見當の争ひとなつてゐるが、原因は賣樂婦に神聖なるべき御輿の露拂ひをさせたのは神に對し汚らひしいといふ幹部の意見からである。

平町會

二十二日開會
石城郡農會では農家經濟上から三箇所で行ふ
平町第三小學校敷地は過般平町つたが念々今年から勿來町、泉村の二箇所に於て試作をする事

なつた、このビール麥の作付方法は水稲刈取後直ちにその跡に作り付けるのでこれが成功すれば農家經濟上に及ぼす利益は非常に間接には金肥料節約上にも利益があるといふので今年度からの試作結果は各方面から注意されてゐる。

荒氏傳記刊行會

馬郡の偉人荒氏八氏は現在では隠れたる偉人として世に知られてゐないが、氏の功績を慕ふ者等は今回御大典を機として傳記刊行會を組織したが、發起人は相馬伊藤警部補、青田刑事部長等は郡各名士を網羅してゐる。

關東北庭球チームの優勝旗爭奪試合

十月七日平町に開く
平俱樂部、警城炭礦、九曜俱樂部、三庭球協會聯合の警城庭球協會主催關東北優勝旗爭奪の庭球試合は十月七日平町商業學所に於て懲役四ヶ月、三年間刑に執行猶豫を言渡された。

農會評議員 愛知縣視察

石城郡農會評議員七名は来る二十六日から三日間大山技師引率の下に愛知縣碧海郡農會並に同縣安城郡農會の農業經營その他視察をなす。

詐欺の判決

四倉町館

未だ逮捕に至らぬ 列車逃走犯人

昨報「小川郷、赤井兩驛間に於て更に警戒に従事したが二十日正降りに逃走した強盜盜被疑者安の巧妙な巧妙なのに署員は舌を巻いて積部片平村生れ前科三犯山内直る。

角眞綿玉糸 講習會日割

石城郡養蠶同業組合では左記日割によつて角眞綿講習會を開催中であるが、尙ほこの外田人、神谷各村からも開催の申込みがある。

鳥御料理

平町南町平館隣り
電話二四四番

四倉漁港問題

農林省に陳情
四倉漁港修築期成同盟會では屢報の如く當局に向つて猛烈なる運動を續けてゐるが、之が陳情のため會長新妻盛氏は十九日代野村、二十日代野村、二十三日代野村、二十七日代野村、三十日代野村、四日代野村、十日代野村に陳情する事になつた。

俺の公開狀

一部石城民政黨員に誨ふ
俺の公開狀に色彩を付ける意味に於て、以下少く、馬目君の憤慨した光景を描いて見ると、常任幹事の失言から馬目君は更に激越した調子で語を續けた「屍死に鞭打つ事は男子として卑怯である、警銀が既に休業するの止むなきに至つた事は同情すべきものがある。是れに對し更に政黨的立場からして攻撃せねばならぬとしたなら、他に方法がある。

大禮博出品 決定問題に就て

縣物産組合長 草野七五三之助

(三)

問(草野) 然らば何故に是迄其高級の入賞者を除外せしかるや

答(草野) 夫れは相互理解の相違に過ぎない事である

問(草野) 其言は余りに無責任であり、不親切である。尚ほ重ねて問ふが、局長は組合會平和の爲め妥協して圓滿解決する意志はないか如何

答(局長) 君は在るか

- 油 繪
- 水彩 畫
- 木炭 畫
- テンペラ 畫
- ハステル 畫
- 用具一式

マルトモ柴田書店

平町四丁目 電話二三三番

問(草野) 拙者は無論あるが、局長は如何、併し拙者其の意志充分あるも、局長にしての妥協の精神がなければ無益である

答(局長) 今となつては其時期でない。局長は暫く沈黙し、やがてフ、ンと鼻先きであしらいながら、一体縣組合會はものにならんよ、明日は事務所も試験場より徹廢し事務員に事務を採らせぬ、と。

問(草野) 局長の答の言葉は頗る不可解である、縣組合會がものにならんよとすれば、拙者は組合會長として其責任の幾

分を負ふべきは勿論であるが、而かも局長は此組合會の組織を維持してあり、産婆役であり、所を自己の部下(工業試験場)に置き事務員を監視して居る。重要な事項に有りながら、其からこは適當を欠いて居るではないか。

答(局長) 縣組合のなつて居るゆゑ云ふは外でない。一例を挙げると、組合會は先に節制染縫技會の場合に謝禮云々の問題もあつたからである。

貸家

田町	商人向	二五〇〇
白銀町	商社向	四〇〇〇
全町	商人向	二六〇〇
仲町	商人向	二〇〇〇
全町	勤人向	四二〇〇
全町	勤人向	六〇〇〇
全町	勤人向	七五〇〇
全町	勤人向	八八〇〇
全町	勤人向	八五〇〇
全町	勤人向	八五〇〇
全町	勤人向	八五〇〇
全町	勤人向	八五〇〇
全町	勤人向	八五〇〇
全町	勤人向	八五〇〇
全町	勤人向	八五〇〇
全町	勤人向	八五〇〇
全町	勤人向	八五〇〇

加藤營業所

鼻の薬、チクノール、平五、山野邊藥局

廿一日ヨリ封切
◆モンテパルクス氏主演
大喜活劇 六巻
無理ロッキン破
素晴らし電波の機なスピー
◆マキノ博 講談俱樂部連載
悲壯探偵 紅手袋 後篇
大活劇 瀧川鶴子、水谷蘭子
環歌子、松尾花子、水谷蘭子
津守博共演

◆マキノ博 文藝俱樂部所載
時代劇 全七巻
◆天明果報談
新入社 阪東三右衛門 主演
松浦榮枝助演

◆大帝キネマ 新作
監督 山下秀一
時代劇 前後篇十五巻
石井常右衛門
明石緑郎主演、松枝鶴子助演
谷天洋、町田英二
新加入鈴木一華

◆有聲座
藤公出されて口惜しうかつたら
石油發動機でもブンナグレ。
(人の悪口を言ふ胡瓜)

耳鼻咽喉科

大和田醫院
平町三丁目
電話一七〇番

有聲座

石井常右衛門
明石緑郎主演、松枝鶴子助演
谷天洋、町田英二
新加入鈴木一華

女ゲーム取り募集

マルトト撞球場

平町田町(電話四六五番)

初秋の御用意

合着シャツとして確かに皆様より歓迎を受けるスムーズなシャツは肌觸り滑かぢ且實用的であります。

大時 一圓五十銭
並時 一圓八十銭

綿ネルのワイシャツ
本折、中折、鳥打、中山、小鳥、中鳥、新柄種々陳列致しました

電話十店商ヤルツ

ラチオの御用なら

平停車場前高野自轉車店ラチオ部へ御用命を願ひます

- 三球式 (附屬品一切付き)
A 金百拾圓也 B 金八拾五圓也 C 金七拾圓也
- 一球式 A 蓄電池 (レシバー付)
金拾參圓也 B 乾電池

部分品、ラチオ製作、取付工事其他
高野自轉車店ラチオ部
電話三二二六番

仙臺放送局指定加入申込取扱所

味噌と油

山崎合名會社

福島縣平町
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

東京支店

上野車坂四三
電話(下谷)五七一三番
振替東京六八三二二番

阿部石炭商店

無煙無臭デ火付が早く、火持チ良ク、火力が強く、日常ノにやキニハコンナ便利ナ品ハアリマセン。

●ソレデ値段ハ大變オ安ク、木炭ノ三分ノ一デ充分間ニ合ヒマス。

●ドンナニ喰はずきらいノ人デモ一度使へバ必ず御氣ニ召スノガ此ノ玉炭ノ特長デス。

◎値段ハ、寄箱金貳圓 個數ハ約八百個内外

◎御申越次第見本持參御覽ニ供シマスカラ御申越下サイ

平 驛 前
電話二三三番

優秀新薬トリックス

御心配日御無用です
淋病、消渴、膀胱カタル等の諸症
偉効ある

定價 二圓、三圓、五圓

を御試し下さい

特約店 平町五丁目 山野邊藥局

洋服を求められたいか?

君は、何型の洋服を求められたいか? 跳かへ?

いやコレは例のソレ正札堂さ



平町正 通場車停町平正 堂札正

問題全畫映題問 女の生

文豪モオハツサン原作
●蒲田空前の大作品
●監督池田義信 粟島すみ子主演
●女が結婚當夜の恐ろしき恥しさを母に打明けた時、母の言葉は?

●少女時代 ●戀愛時代
●結婚時代 ●母性時代

●母となつた妻は良人への怒みを忍び得ず母に打明けた時母は?

●凡ゆる「女性」に捧ぐ、歡喜と絶望に綴られたる哀れ女の生涯

●日活超特作 大河内博次郎主演
新 忠次旅日記大會
甲州殺陣篇 信州血祭篇 忠次御用篇
九月二十日ヨリ 平 館
土日曜學生デー